

# 12月の果実の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5か年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5か年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
りんご(ふじ)	5,917	100	5,344	267	102	275	1,025	17.3	青森、長野産中心の入荷となる。ふじは11月中旬に各産地がでそろい、やや販売苦戦する場面もあったが、12月に向けて状況は改善する見込み。10月の強風によるスレ果発生などにより上位等級品が品薄となり、ギフト向け商材は例年以上に引き合いが強いと予想される。熟度が進んでいるため切りあがり及早まることも予想され、年末は品薄感高まる。総入荷量は前年並み、価格はほぼ前年並みの見込み。
かき類	2,941	90	2,458	280	114	303	55	1.9	福岡、奈良産が中心となる。品種は富有柿中心。全国的に食味良好。今年はピークが来て早めに切りあがる見込み。仕入れ側にとっても格安の時期は短く、価格の反転も急である可能性が高い。12月の貯蔵量(入荷量)は前年並みに届かず、食味が良いので価格は前年を上回る見込み。
いちご類	2,666	前年並み	2,583	1,946	100	1,781	0	0.0	栃木、福岡、佐賀、静岡産中心の入荷となる。11月は気温高く、前年を上回るペースで入荷となっているが、12月に気温下がれば落ち着いてくる見込み。全国的に栽培面積は減少傾向にあるが、暖冬気味との予想もあり、12月の出荷量は前年並みと見込まれる。業務利用が高まる12月中旬にかけては2L、Lサイズの引き合いが強まり、年末にかけてしっかりとした価格が維持される見込み。
西洋なし	487	下回る	690	475	103	410	272	55.9	山形、新潟産中心の入荷。11月中心の「ラ・フランス」は130～150%の作柄、12月中心の「ルレクチェ」は60～70%の作柄。12月の総入荷量は前年を下回り、価格は上回る見込み。「ラ・フランス」の出来が良く、後半戦も期待される。
キーウイ	426	下回る	526	398	103	379	6	1.5	福岡、愛媛、和歌山産中心。12月のNZ産の入荷は期待できず、国内産地も準備できていないため、入荷量は前年を下回る見込み。価格はやや上回る。国内産は年明けがメインとなる。
ほしがき	549	下回る	535	1,997	102	2,009	52	9.5	長野、山梨、富山産が中心となる。11月は暖かかったため加工作業に遅れやダメージが発生し、入荷量は前年を下回る。価格は前年をやや上回ると予想される。